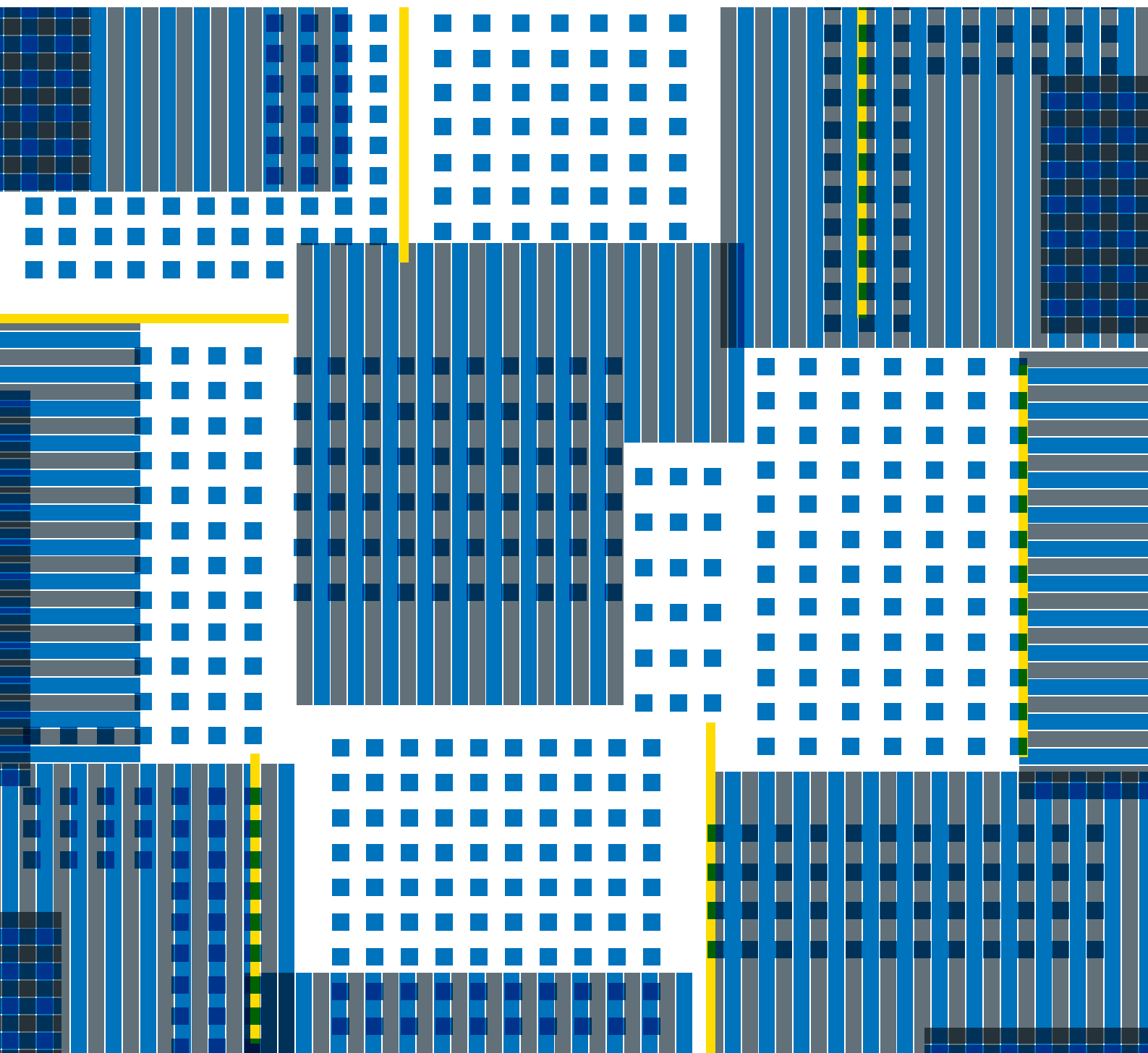




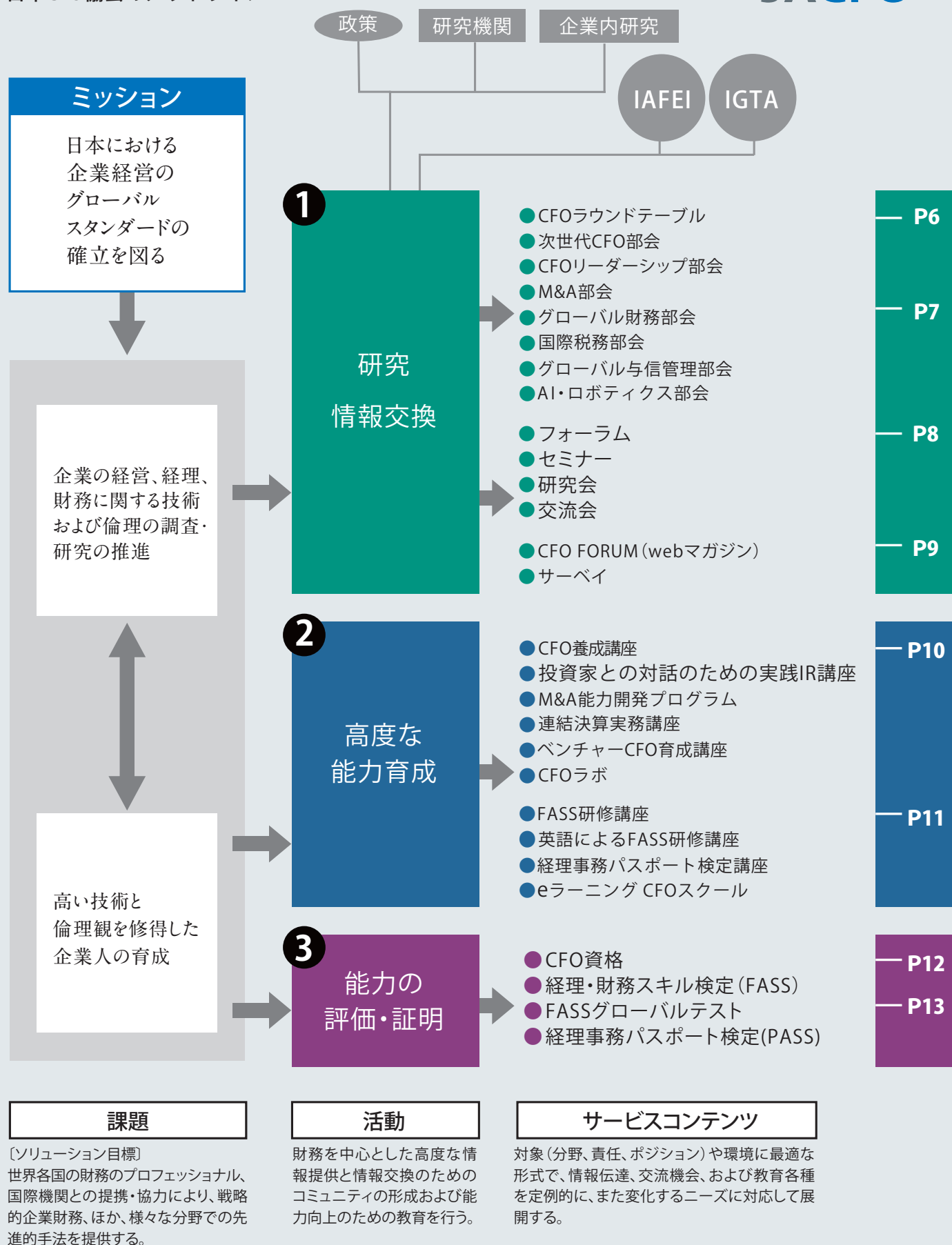
〔CFO協会のミッション〕

コーポレート・ガバナンスを強化した、
企業経営のグローバルスタンダードの
確立を目指します。

グローバル規模のビジネス競争が激化し、企業を取り巻く経営環境が一段と不透明さを増す中、会計の国際化への流れや企業の透明性を求める資本市場の動きは、本格的なコーポレート・ガバナンスの強化を日本の企業経営に迫っています。いかにして収益性を高め、資本市場への透明性を高めていくのか…経営環境や社会構造の変化に対応した経営モデルの再構築は、グローバル展開した企業経営のリスクマネジメント機能の強化とともに、日本企業の喫緊の課題となっています。

こうした課題をクリアするには、市場・社会対応型の経営モデルをリードするCFOを育て、日本における企業経営のグローバルスタンダードを確立することが必要です。

このミッションを実現するため、一般社団法人日本CFO協会(以下CFO協会)は国内外のネットワークから経営・財務に関する最先端の概念・手法を入手して調査・研究を進め、その成果を軸に教育プログラムを構築。経営・財務に関する高い技術と倫理観を持ったCFOの育成に努めるとともに、CFO機能強化のための支援活動を展開しています。



世界の財務戦略手法を持ち込んだ 国内唯一の国際的ネットワーク、日本CFO協会。

CFO協会は、先進的な世界の財務戦略手法を日本に持ち込むため、世界の財務教育のネットワークへの参画を進めてきました。

2000年に米国最大の財務教育機関である「財務プロフェッショナル協会（AFP）」との提携を皮切りに、2001年には「国際財務協会連盟（IGTA）」、2003年には「国際財務幹部協会連盟（IAFEI）」に加盟。さらにアジアでは韓国や中国のCFO協会とも提携を結んでいます。

CFO協会は、日本で唯一の国際的財務教育機関として、これら国際ネットワークを通して得た財務戦略の最新情報や先進的手法を国内に紹介するほか、今後は、世界における資格の相互認定や、財務分野での人的交流についても推進していきます。



● 国際財務幹部協会連盟 (IAFEI)

International Association of Financial Executives Institutes

1969年に設立された、16カ国が加盟するCFO・財務担当エグゼクティブの国際情報ネットワーク。各国を代表する財務幹部団体が集まっています。毎年「世界CFO会議」を開催しています。

● 国際財務協会連盟 (IGTA)

International Group of Treasury Associations

世界における財務のプロフェッショナルの職業倫理確立と専門性向上を目指し、1996年に設立された国際組織。世界27カ国の財務団体が加盟しています。国際的な財務資格の体系作りを進めています。



経営課題の解決につながる、 高度な情報交換の場があります。

CFO協会の特長のひとつは、国内外のネットワークを通じて得た、経営財務に関するハイレベルな情報を提供できることです。CFO協会が実施する各種調査結果や米国AFPの調査レポートなどもフィードバックしています。

また、経営の軸が集まる「CFOラウンドテーブル」をはじめ各種「部会」を形成しており、そこでは、企業経営に関する情報交換が行われ、経営課題の解決策についても活発に意見が交わされています。こうした活動を通じて、経営に携わる個人個人の能力の底上げ、ひいては企業の経理・財務機能の最新化、高度化の一翼を担っています。

● CFOラウンドテーブル

日本を代表する企業の現役CFOが集まり、CFOが直面する重要な経営課題に関して相互に意見交換を行い、議論を深め、情報発信していくネットワークです。その都度、タイムリーなテーマを選び、経験豊かな講師を招いて会合が行われています。



CFO Round Table

● 次世代CFO部会

日本を代表する企業において、次世代を担うファイナンスパーソンを対象としたネットワーキング活動です。企業・業界を超えたネットワークを構築することで知識・経験の継承の場を提供し、CFO人材輩出に貢献することを目的に、日本企業のファイナンス組織が直面しているさまざまな課題について、一流の講師陣を招聘したディスカッションセッションを開催しています。



Next CFO Society

● CFOリーダーシップ部会

企業戦略を正しく評価し、より大きなリスクに挑むためのリーダーシップがCFOに求められている今、組織に依存しない強いCFOを育てていくことを目的とし、議論をしながら相互研鑽できる場を提供します。CFO協会個人会員限定で参加可能です。



● M&A部会

M&A力向上のための情報交換の場として、先進企業の経営者・CFOや第一線で活躍するM&Aの専門家などを迎え、M&Aに関する国内外のさまざまなコンテンツを紹介すると共に、メンバー同士の議論の場も設けています。



● グローバル財務部会

国際展開する日本企業の財務担当者の財務リスク管理の専門性を高めることを目的とし、テーマ別に深く掘り下げたメンバー同士の議論の場として国際財務について体系的に学べると共に、企業の枠を超えて相互研鑽・情報交換ができるようになっています。



● 国際税務部会

国際税務分野における課題解決を支援するための、国際税務部門の専門家や企業経営者、CFO経験者などを講師に迎え、国際税務プランニングや国際税務実務上の課題について、参加者が議論をしながら相互研鑽できる場を提供しています。



● グローバル与信管理部会

企業グループ全体のガバナンス、与信管理、ビジネスリスクの管理強化に向けた実務課題の情報交換、研究の場として、テーマごとに専門性を有する講師を招き、プレゼンテーションと質疑応答、ディスカッションを行います。



● AI・ロボティクス部会

経理・財務部門の生産性を飛躍的に向上させ「働き方改革」を実現させることを目的に、AI・ロボティクス(RPA)を中心とした現場で推進が可能なデジタルテクノロジーの活用方法を勉強し、具体的な事例をメンバー間で共有できる場を提供しています。



一歩先をいく情報が得られる フォーラムやセミナーを開催しています。

CFOの役割は、単なる財務責任者から企業価値の設計をも担う者へと進化しています。しかし、経営環境が複雑化し、さまざまな問題に直面する今日では、既存の知識やノウハウだけでは問題の解決が難しく、企業価値の設計が一進一退するケースもあります。

CFO協会では、経営幹部が集うフォーラム、一流の講師を交えて行うセミナー、その都度定めたテーマに沿って研究を行う研究会や幅広い業種の人材と交流する交流会など、多彩なコミュニケーションの場を提供しています。

CFOとして幅を広げていただけるよう配慮しています。

フォーラムやセミナーの講演内容はCFO協会会員限定で動画配信しております。

●フォーラム

最新の経営財務のトレンドを発信する経営財務メンバーが集う、日本最大規模のフォーラム「CFOフォーラム・ジャパン」の他、専門テーマをとり上げた各種のフォーラムを開催しています。



●セミナー

月に2回、平日の夜に経営・財務に関するさまざまなテーマを取り上げ、「CFOセミナー」を開催しています。時のテーマを一流の講師を交えて行っています。



●研究会

CFO協会のマネジメントサーベイの結果をもとに、テーマごとに研究会を開催しています。テーマを深く掘り下げることはもちろん、それぞれのテーマの実態把握、異業種交流（人脈作り）などにも大きく役立ちます。

●交流会

講演会も併設した「CFO NIGHT !!」をはじめ、各種のフォーラム、セミナーに交流会をあわせた企画を開催しています。経理財務に携わっている方々にとって、幅広い層の人材交流の場となっています。



エグゼクティブのためのオンライン・マガジン 「CFO FORUM」を毎月発信しています。

企業財務戦略、財務マネジメント、総合リスク管理、年金運用、コーポレート・ガバナンスといった経営マネジメントに関するテーマ別の記事をはじめ、インタビュー記事、講演録、CFOへのアンケート調査の分析など、経営・財務分野における最先端の情報をお届けしています。

CFO FORUM
No.66の記事
(2016年1月)



企業が直面している経営財務の諸問題について 実態調査する財務マネジメントサーベイを行っています。

年に4回、企業が直面している経営財務の諸問題について実態調査を行う財務マネジメントサーベイを行っています。各テーマに対する調査分析結果は、今後の戦略を立てる上でのベンチマークとして有用であると考えています。

また、貴社のご希望のテーマについて「財務マネジメント・サーベイ」として協同で調査を行うことも可能です。貴社の製品・サービスについての市場調査として戦略策定にご活用いただけるほか、調査結果のレポートをオンライン・マガジン「CFO FORUM」に掲載することで、貴社の認知度アップやブランド構築のツールとしてもご利用いただけます。

さらに、海外の財務団体のサーベイと関連したサーベイも実施しており、グローバルなテーマについての情報収集にも役立てていただけます。

〈事例〉過去のサーベイ

第54回	税務紛争への対応を巡る課題について
第53回	持続的成長を支える事業の評価と再構築に関する課題
第52回	非会計数字を活かした将来予測手法の確立に向けて
第51回	領収書原本保管義務緩和に関する実態調査
第50回	経済産業省委託調査との連携調査:中国・アジア拠点への本社統治力と財務マネジメント

財務教育のノウハウを詰め込んだ、 研修プログラムを提供しています。

企業の財務戦略を担うプロフェッショナルの育成をサポートするため、さまざまな研修プログラムをご用意しています。企業ごとの要望に応じた研修プログラムもご提供しています。

● CFO養成講座

いまや企業規模に関わらず、ファイナンス領域におけるマネジメント力および投資家や資本市場との対話力の強化が求められています。財務テクニクによる近視眼的な「ROE経営」ではなく、企業価値の持続的成長の結果として得られる「真のROE経営」を支える財務意思決定のエッセンスを学ぶ「企業価値を高める経営財務戦略の立て方」の研修会として開催します。◆財務戦略の知識が身につき、その知識をどのように経営に役立てるのか、企業価値を高める戦略の立案手法を学ぶことができます。



● 投資家との対話のための 実践IR講座

持続的な企業価値の成長を目指す経営戦略を支えるためには、自社の戦略を投資家に理解していただく財務センスを磨くと同時に、投資家の視点で自社を捉えなおすIR力構築のベースを学ぶことが不可欠です。◆本講座では、技術的手法ではなく、CFOや財務幹部/IR担当者に求められる投資家視点の実践的なIR手法を解説し、投資家に理解される企業戦略や財務戦略について考える機会をご提供します。資本効率を意識した経営・財務について改めて学ぶことで投資家評価をより高く安定されたものにしたいビジネスパーソンにお勧めの講座です。



● M&A能力開発プログラム

CFO協会は2013年度より経済産業省「高度金融人材産学協議会」に協力する形で日本企業のM&Aに関する課題を検討してきました。このプログラムはその検討をルーツとして開発されました。◆M&A全体を俯瞰してプロセスを疑似体験/追体験することを通して、本質的な理解の会得を追求した実践型教育プログラムです。



● 連結決算実務講座

グローバル化による海外子会社の業務負担が増加していることを背景に、正確な連結決算業務の知識を持つ人材の育成が急務となっています。◆本講座では連結決算における親会社や子会社の決算業務・会計処理を基本から学習します。連結決算を行う親会社における連結決算業務を範囲とした《連結コース》と連結決算用の財務データ（レポーティング・パッケージ）を作成・報告する子会社における《単体・子会社コース》の二つのコースをご用意しています。



連結決算実務検定™
Consolidated Accounting Practice Test

● ベンチャーCFO育成講座

日本のベンチャー企業ではCFOや経理・財務・経営管理といった管理系人材の不足が深刻となっているのはご周知のとおりです。◆本講座は、創業期から急成長期までの企業ステージ、初期ラウンドの資金調達や売却までを中心テーマに、CFOとしての基礎を体系的に整理、現在のベンチャー企業のCFOのみならず、今後CFOとして活躍を目指す方も対象としています。



● CFOラボ

経理・財務の現場で直面する具体的な課題を対象に、課題解決への手がかりや行程を見出すことを目的に、経験豊富な講師のファシリテーションのもとでグループスタディを行います。グループスタディでは、課題共有、情報交換・意見交換などを通じて、参加者同士の相互啓発や人間関係の構築が期待でき、CFOラボ修了後も、同じ課題を抱える方々とのネットワークとして、様々な局面で参加者の課題解決に役立てていただけます。



いつでもどこでも学べるオンラインシステムがあります。

経理・財務の必須テーマを「財務会計」と「経営会計」の2つの面から説き明かす「経理・財務入門」特別講義をはじめとする Web配信の研修や講演会の動画を個人会員・法人会員はすべて無料で視聴できます。

「講演会場まで遠い」「海外赴任者にも研修を受けさせたい」「時間が合わない」などを解消、世界中でいつでも参加可能です。また、一人ひとりのスキルアップをサポート、最新情報もお届けします。

Web 配信

経済産業省 経理・財務人材育成事業



● FASS研修講座

資産分野・決算分野・税務分野・資金分野の4つの分野を全122タイトルで構成。総視聴時間は約19時間です。経理・財務の基本を集中してマスターするための講座です。



講師：金田一好子氏

● 英語によるFASS研修講座

経理・財務の基本を英語で受講できます。各国固有の会計制度やルールに依拠しない、極めて標準的な内容となっています。在外法人・拠点で経理・財務業務に従事し、経理・財務の基本的業務スキルを身につけたい方、FASS検定のスコアアップを目指す方に最適です。

Illustrative Transaction

	Customer A	Customer B	Receivables	
Credit Limit	1,000	500	Dr	Cr
Beginning	500	200	700	
Oct 2: Sales to A	300		300	
Oct 5: Collection from A	(200)			200
Oct 10: Sales to B		300	300	
Oct 15: A ordered 500				
Oct 20: Collection from B		(200)		200
Oct 25: Collection from A	(300)			300
Oct 30: Sales to A	500		500	
Ending/Total	800	300	1,100	700



講師：坂本直弥氏

Web 配信

経済産業省 経理・財務人材育成事業



● 経理事務パスポート(PASS)検定講座

経理事務の現場で行われている業務の進め方やそのポイントをていねいに解説。《PASS》3級から1級まで対応しており、必要な業務をピンポイントで学習できます。スマホやタブレットなどで手軽に研修・問題演習・認定試験への挑戦が可能です。



講師：金田一好子氏

e-ラーニング



CFO School



● CFOスクール

経理・財務分野の実務スキルをいつでもどこでも効果的に学ぶことができる「経理・財務の学校」(e-ラーニング)です。人気講師によるわかりやすい解説で、実務に必要なポイントを効率的に習得できます。※受講期間は無制限です。

〔総合コース〕

■ CFO養成講座

■ 経理・財務スキル検定対策講座

■ 経理事務パスポート検定講座

〔分野別コース〕

■ 投資家との対話・IR講座

■ M&A能力開発プログラム*

■ 連結決算実務講座*

(※準備中)

ハイレベルな専門性を証明する資格認定をはじめ、能力を見える化しています。

「CFO資格」の認定をはじめ、「経理・財務スキル検定(FASS)」、「FASSグローバルテスト」、「経理事務パスポート検定(PASS)」を実施しています。専門知識や実務能力のアセスメントを行うことで、さらなるスキルアップを図ることができます。

●CFO資格

企業の経営・財務分野における専門知識を備えていることを証明する資格で、そのグレードとジャンルによって4つに分かれています。

◆ビジネス知識(MBA)の認定資格

<MBAコース/ジェネラルCFO>

MBAのファイナンスコースのコア知識を身につけていることを証明する資格です。(本資格ではMBAは取得できません)



ジェネラルCFO認定証

◆企業財務知識の認定資格

<国際コース/グローバルCFO>

グローバル企業の企業財務に必要な知識を幅広く身につけていることを証明する資格です。米国CTP、米国CPA、米国CMAの合格者をグローバルCFOに認定します。



グローバルCFO認定証

<上級コース/プロフェッショナルCFO>

企業財務の様々な課題を解決できる専門知識を身につけていることを証明する資格です。経済産業省の「地域金融人材育成システム」に完全準拠しています。



プロフェッショナルCFO認定証

<基本コース/スタンダードCFO>

経理・財務スキル検定(FASS)でレベルAを取得していることを証明する資格です。



スタンダードCFO認定証

〔CSRについて〕

最新情報の収集及び調査を推進し、 CSR活動を応援します。

近年、CSRの実効に関しては、企業活動の本業において行われるべきことが重視されるようになっていきます。今後、これらの動きは、ISO26000(社会的責任に関する国際規格)に見られるような企業における事業活動全体のCSR視点での再評価を、ポジティブ側面から推進していく可能性があります。現在、すでにCSRのパフォーマンス指標化やその勘定体系への取り込みといった動きとなって現われています。こうした指標や勘定体系はまだ未知の部分がありますが、日本CFO協会では、企業活動を支援できるよう、今後も情報収集及び調査を進めてゆきたいと考えています。

税制優遇措置対象の寄付プロジェクトを紹介しています。

日本CFO協会では、公益財団法人パブリックリソース財団が運営するオンライン寄付サイト「GiveOne」を紹介しています。「Give One」を通じた寄付は、「特定寄付金」としてすべて所得控除、あるいは税額控除の対象となります。法人からの寄付については、特別損金算入限度額の寄付金として損金算入することができるようになっています。



写真：東ティモールでの自立支援事業/
公益財団法人ケア・インターナショナル・ジャパン

CFO協会は「国連グローバル・コンパクト」に署名、 「GCの10原則」と「ミレニアム開発目標」に賛同しています。

責任ある企業経営・財務活動のためには、単なる空間的なグローバル化だけではなく、時間的グローバル化や意識的グローバル化が必要不可欠です。日本CFO協会では、特にグローバル化を進める企業に対して、国連グローバル・コンパクトの視点を有した経営・財務の支援を行っていきたいと考えています。

● 国連グローバル・コンパクト

グローバル社会の中で、企業等が社会の構成員としての責任あるリーダーシップを発揮することを目指し、人権の保護、不当労働の排除、環境問題への対応などの10原則を定めた世界的な枠組みです。これに賛同する世界約160ヵ国13,000以上の団体(うち、企業約8,300)が自発的に署名・参加し、10原則に基づく行動を行っています。



〔会員制度（入会のご案内）〕

CFO、経営財務部門とのネットワーク

- CFOや財務部門が直面するさまざまなテーマについて、他社との情報交換を行うことは大切です。
- グローバルなネットワークを利用することで、国内のみならず、海外の提携諸団体とのネットワークも広がります。



専門性の向上

- CFO資格、FASS（経理・財務スキル検定）という2つの専門試験により、経営財務の専門知識や経理財務実務能力のアセスメントを行うことができます。
- 会員情報誌や会員専用ウェブサイトにて経営財務に関する最新情報や各種のトレンドを知ることができます。

会員種別・会費

	入会金(税抜き)	年会費(税抜き)
個人会員	10,000円	12,000円
法人会員	200,000円	200,000円

※資格認定は個人会員に限定しています。

※法人会員は、何名でもメンバーの登録ができ、情報誌や研修動画の閲覧ができます。

詳しくは協会ホームページでご確認ください。



一般社団法人

日本CFO協会 www.cfo.jp

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-1 TEL: 03-3556-2334 FAX: 03-3556-2320 E-mail: info@cfo.jp
2-7-1, Hirakawa-cho, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0093 Japan